

※ 田浦小職員会議で  
決定  
(R4.9月)  
裏面は職員からの  
意見、質問

## プランごとの比較

1～10は教育政策課資料にある課題点  
11～は、その他考えられる課題点

	プラン1 田浦小・長浦小の合併	プラン2 田浦と長浦に小中一貫校	
① 田浦小+船越小+田浦中 現田浦中の場所			
② 長浦小+逸見小+汐入小 + (沢山小) +坂本中を 現長浦小の場所			
1 田浦小・長浦小はそれぞれ6学級で小規模校に該当している	△	○	プラン1合併後にさらに減少したら？
2 田浦中は約3.6kmの遠距離通学の地域がある	×	○	遠距離通学地区は長浦小学区
3 田浦小は築68年で建て替え時期がせまっている	○	△	現在68年。80年限度と考えあと10年で。
4 船越小、田浦小は建物の一部、長浦小、田浦中は敷地の一部が レッドゾーンに該当し、建て替えの際、考慮が必要	○	○	
5 逸見小、沢山小、汐入小はそれぞれ6学級、桜小が10学級と、同 一中学校区の4小学校がすべて小規模校に該当している。	/	○	
6 逸見小は複式学級に相当する学年がある	/	○	
7 逸見小は築65年、沢山小は築61年、汐入小は築58年、坂本中は 築58年で建て替え時期が迫っている	/	○	
8 逸見小は敷地の一部、沢山小、汐入小、坂本中は建物の一部が レッドゾーンに該当し、建て替えの際、考慮が必要	/	○	
9 坂本中は建て替え時に、現在使用している旧桜台中の有効活用を 含めた敷地の整理が必要	/	○	坂本中の立地から学区の再検討必要。
10 中学校区との関係	○	○	学区再編
11 財政面	○	△	プラン1はとりあえずでは○だが、その後は…？
12 令和10年度には田浦小、長浦小に船越小合計が435人と見 込まれること	△	○	
13 子どもたちの気持ち(モチベーション)	×	○	
14 小学生の遠距離通学	×	○	
15 学区と町内会	×	○	田浦小創立の経緯からして船越小との合併が自然
16 通学路の安全面(特に16号トンネル)	×	○	
17 学童の選択	○	○	※田浦地区善隣園の活用(お迎え等の協力を仰ぐ)
18			

意見や質問をご記入の上、岡部まで。(次回の地域別会議での意見に反映したいと思います。)

(記入者氏名( ))



### ●長浦小に統合

- 統合はすでに市内での事例があり、統合に向けてのプランが立てやすい。
- 教職員は「異動」に近い感覚で、やりやすい。
- 同じような規模の小学校同士の統合なので、吸収される感覚が少ない？

△R7年度 児童数 240 人 ÷ 6 学年 = 40 人 / 学年

R8年度 239 人 ÷ 6 学年 = 39 人 / 学年

R9年度 223 人 ÷ 6 学年 = 37 人 / 学年

→R9 年度時点で単級の学年が出てくるかも？すぐに小規模校に？

△船越小からも長浦小からも遠い田浦小学区が廃れてしまう。

### ●小中一貫校

○市内で初めての義務教育学校という新しい学びへの期待感

(田浦中 + 船越小 + 田浦小 = これまでの小中一貫教育を生かした形)

○田浦小卒業生が中学校でつまずく不安を和らげる

○将来推計によると各校支援学級の数減っていない → 支援教育へのニーズは減らない(むしろ増?) → 教員の専門性・指導力が必要、共に育つ学校づくり

○船越小の校庭の狭さが解消される

○国道 16 号線沿いによる騒音問題の解消

○田浦中也経過年数 56 年(田浦小は 68 年)…いずれ改築が必要。ならば…

○市内に小中一貫校ができることによる、市内の教育への効果

○R9 年度には船越小でも単級の学年が…

△市内でまだ事例がなく、教員の力量がかなり必要(人集めが大変!)

△財政面(長浦小に統合よりも断然費用がかかりそう…)

- ・現田浦小の場所に、小学校規模の建物を建てることは不可能なのか？
- ・北部共済病院の跡地に住宅はできないのか？

(R5.1.31 地区協議会)